改実現することをお互いの利益に結びつけ、ともに成長できればと考えている」

いさつ。

いて、田邉孝治副は「3月まで約30わたり、新日鉄住関製鉄所で特殊鋼の製造に関わって全世界の主要特メーカーを見学したが、王子製鉄の装備力、製造実力違いなくトップレ。強みをさらに磨げて、皆さまの信勝ち得ていきた述べた。千田清・役群馬工場長が工要を、西村展明・取技術部長が製造技を説明。永戸一彦社延社長、鈴木和士鉄興業社長がそれの企業概要、取みを紹介した。

のあと、出席者一展示場を見学するも に、群馬工場と、二次加工を手掛け鉄興業の工場を視夕方には太田グラホテルで懇親会をた。

の特約店や取引先商社などで組織する中国建翔会（会長＝杉原由太郎・豊正工業社長）は17日、広島市で第2回研修会を開催し、16人が参加した。

あいさつに立った杉今後に備えていただきたい」と話した。

研修会では「新日鉄住金グループの建材商品―鋼矢板・熱押形鋼・その他建築建材商品」のテーマで新日鉄住金の担当者が製品紹介を行った。

記念講演会では、松本日出夫・宇宙開発協同組合理事長（大日電子社長）が「もう宇宙は夢じゃない！リーダーと部下のチャンスの生かし方」の演題で講演した。

研修会のもよう

報交換をしっかり行い

体験を行った。参加した親子約30組は、NPOの指導のもと、たたら製鉄で作った鉄から、思い思いのペーパーナイフを作った。

「子どもたたら教室」では、砂鉄採りから、木炭作り、たたら操業、鉄が製品になるまで一貫したことになり、モノづくりの楽しさ、奥深さを学んだ。

鍛冶体験では、松田刀匠が鍛冶について説明。製品までの前工程となる折り返し鍛錬を実演した。

ペーパーナイフづくりに挑戦

いた。熱い鉄が延びる性質、形が変化していく様子を子供たちは確かめた。

「楽しかった」「良い作品ができた」といった声もあり、NPOにとっても初めての鍛冶

東京鉄鋼販売業連合会、全国厚板シャリング工業組合東京支部、浦安鉄鋼団地協同組合の3団体共同による、第5回鉄鋼流通3団体合同野球大会の準決勝、決勝が16日、千葉県浦安市の清水球場で行われ、決勝は延長の末、入船鋼材が4対3でKSサミットスチールにサヨナラ勝ちし優勝した。

最優秀選手賞には入船鋼材の大崎敦選手が、優秀選手賞にはK

表彰式のもよう

ームともノーアウト2、3塁から攻撃を開始。8回裏、入船鋼材は2死満塁からレフトオーバーのタイムリーを放ち、熱戦にピリオドを打った。

なお、準決勝の結果

hauseco

hauseco（ハウゼコ、本社＝大阪市中央区、神戸睦史社長）の住宅用笠木下換気部材「アンタレスミニ」が、本年度の「HEADベストセレクション賞」を受賞した。同賞は、HEAD研究会（理事長＝松永安光・近代建築研究所）が主催し「優れた建築を生み出すことに貢献し得る、優れた建材・部品」に贈られる賞。

住宅用笠木下換気部材「アンタレスミニ」

HEADベストセレクション賞受賞

HEAD研究会は、建築家、研究者、施工者を中心とした専門家、建材・部品・住宅メーカー、大学生を含めた若手世代などで会員を構成し、「日本の建築と部品の潜在能力をとき放つ」を目標に掲げ、建築産業のあり方について発信し、連携・交流する一般社団法人。建築家の会員による選考委員会が本年度の同賞選出を行った。

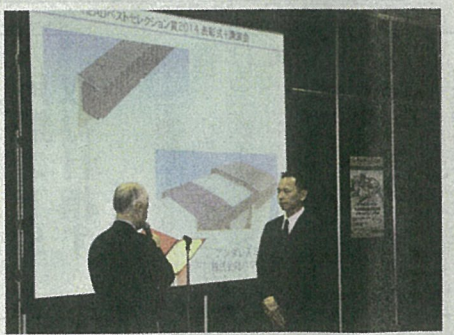
「アンタレスミニ」の受賞は、「バルコニーなど壁上部につける笠木

通気確保・漏水防止の両立評価

において、確実な通気層の確保と漏水防止を両立させる画期的な製品」（選考委員会）であることが評価された。

木造住宅では、外壁の通気を確保して壁内の湿度を適切に調節することが、断熱性能や耐久性の維持に必要となる。外壁の通気層は漏水の原因となりやすい。住宅の外部からは目に見えにくいものの、換気部材は重要な役割を持つ。

「アンタレスミニ」はガルバリウム鋼板を主材料とする換気部材。バルコニー笠木下やパラペット（胸壁、屋上などの建物端部に設けられた小壁）の換気が可能で、釘打ちが横からで漏水事故が起こりにくい。笠木下に隠れるコンパクトな設計で、さまざまな形状に対応する。



表彰を受ける神戸社長㊨

14日、ジャパンホーム&ビルディングショー（東京ビッグサイト）の会場内で表彰式が開催され、ハウゼコの神戸社長が出席。受賞製品の展示も行われた。

4―9月期連結決算

（単位:100万円、配当は円、中段は前年同期、下段は通期予想）

売上高	営業利益	経常利益	純利益	配当
ヒロセ				
42,685	1,669	1,743	866	—
37,727	1,490	1,554	901	—
90,000	3,400	3,100	1,900	—

日刊産業新聞ネット版 http://www.japanmetal.com

人事異動

日新製鋼（11月21日付）

▽海外統括部中国銅めっき鋼板事業推進チーム主任部員（堺製造所駐在）〈東予製造所生産技術チーム主任部員〉沼田真朗

移転　25日から新事所で業務を開始する。

移転先は次の通り。

▽住所＝大分市原新町6―15　さくらビル4階

▽電話＝097―558―7600

▽FAX＝097―551―3765